



神奈川県東ロータリークラブ

KANAGAWA EAST ROTARY CLUB

2016-2017年度 第39週報 No. 1975 2017年(平成29年) 4月28日 第1975回 例会記録 5月12日発行

本日〈5月12日〉のプログラム

- ◆斉唱 「君が代」「奉仕の理想」
- ◆献立 中華御膳
- ◆卓話 「RYLAの報告」
阿部明子 様・小峰 心 様・林 幸美 様
(紹介者 佐藤 勝彦 会員)

<<本日のBGM>>
アルバム「CINEMA CLASSICS 101」より



PHOTO 加野亮一 会員

司会 白鳥 厚夫 副幹事

誕生日祝 山崎 善也 会員 (4月29日)
須永 久一 会員 (5月11日)
金森 欣一 会員 (5月11日)

点鐘 植田 清司 会長

斉唱 「手に手つないで」
ソングリーダー 河野 明光 会員

四つのテスト 横溝 亘 職業奉仕委員長
(第1例会のみ)



ゲスト紹介 馬場 佳子 様 (入会候補者)

2016-2017年度 RI会長 ジョン F. ジャーム



第2590地区 ガバナー 高良 明

会 長	植田 清司	会 計	白井 康夫
会長エレクト	矢野 修二	副 会 計	河野 明光
副 会 長	西山 潔	S A A	田中 龍太郎
副 会 長	伊東 英紀	副 S A A	茂木 知子
幹 事	小山市 康	副 S A A	吉田 隆男
副 幹 事	白鳥 厚夫	クラブ会報	加野 亮一

例会日 毎週金曜日 0:30~1:30 PM (第5金曜日 6:00 PM)
例会場 ホテルキャメロットジャパン
URL <http://www.kanagawahigashi.com/>
E-mail kerc@beach.ocn.ne.jp

事務局 ホテルキャメロットジャパン内
〒220-0004 横浜市西区北幸 1-11-3
TEL: 045-314-3900 FAX: 045-314-3555
創立記念日 昭和 51年 5月 29日

会長報告

植田 清司 会長

- ・ R I 事務局より、MPHF になられた須永久一会員に認証ピンが届いておりますので贈呈します。



- ・ 4月22日に神奈川県民ホールにて開催されましたロータリー経営大講演会のお礼状が高良ガバナーより届いておりますのでご報告申し上げます。

【募金のお願い】

“ひろくに心臓移植を”のチラシをボックスへ配布致しました。募金箱を回しますのご協力の程よろしくお願い致します。

◆ 募金額 51,000円 ◆

ご協力ありがとうございました。

幹事報告

小山 市康 幹事

- ・先週に引き続き、『第10回タバコの吸い殻拾い&ウォーキング開催のご案内』と『第27回日本ロータリー親睦ゴルフ北海道大会のご案内』を回覧します。
- ・次週例会は5月5日祝日のため休会となります。次回例会は5月12日となります。また、事務局は5月3日～10日までお休みとさせていただきます。

出席報告

澁谷 高弘 出席委員

会員総数	51名	(31+20)名	
出席会員数	40名	(26+14)名	
出席率	88.89%		
ゲスト	1名	ビジター	0名
前回補正後	86.67%	前々回補正後	93.48%

スマイルボックス

田中龍太郎 SAA

- 山崎善也君 誕生日のお祝い、ありがとうございます。
- 須永久一君 本日は誕生日のお祝いを頂き、ありがとうございました。今回で14回目です。

金森欣一君 本日はお誕生日のお祝いを頂き、ありがとうございます。今年で63歳になりました。今年の暮れは、名実共にジジイになりそうです。

植田清司君 ①馬場佳子様、本日はようこそいらっしゃいました。②但野さん、本日の卓話、よろしくお願ひ致します。

山本 登君 長女に女の子が生まれました。

江森国一君 ①梅津さん、馬場さん、入会よろしくお願ひ致します。②但野さん、卓話、楽しみにしています。

西山 潔君 月山さん、色々とお世話になりまして、ありがとうございました。

白鳥厚夫君 ①昨夜の次年度理事・役員・委員長会議に出席の皆様、ありがとうございました。②本日の卓話、但野さん、楽しみにしています。

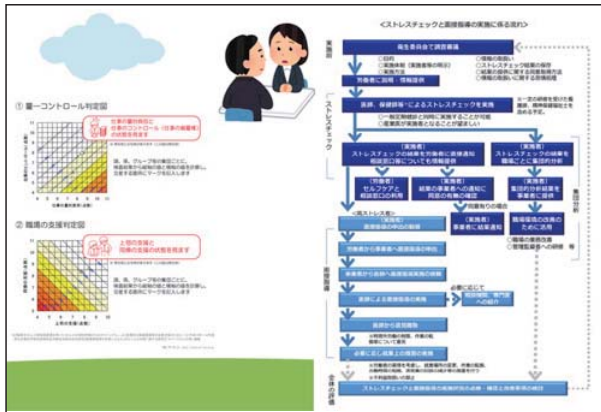
茂木知子さん ～危ない職場訪問～赤堀さんが今までの職場訪問では行けなかった職場を訪問するそうです。温泉同好会との同時開催とか言っています。怪しい職場訪問かもしれません。

4月28日	9件	29,000円
本年度累計		1,576,904円

「メンタルヘルスの現状」

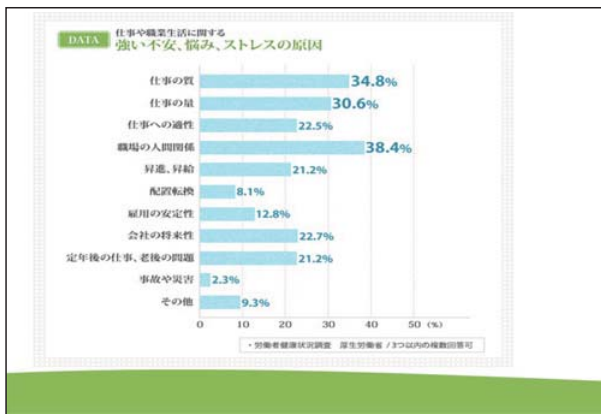
但野真実子 会員





次年度理事・役員・委員長会議開催

4月27日（木）、キャメロットジャパンにて次年度理事・役員・委員長会議が開催されました。

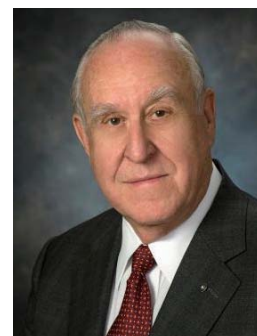


ロータリーニュース

R I 会長からのメッセージ

2017年 5月

皆さまのお手元にこのメッセージが届く頃、第108回国際ロータリー国際大会（アトランタ）は6月10～14日開催に向けての準備が最終段階に入っています。ロータリーが人類に奉仕したこの1年を祝うだけでなく、ロータリー財団を通じて世界でよいことをしてきた1世紀を祝う今大会は、史上最大かつ最高のロータリー国際大会になります。



参加を決定されていない方も、まだ間に合います。4万人ものロータリアンたちが一堂に会し、アイデアを共有し、互いに意欲を引き出し、最高のひとときを過ごす——今年も充実したロータリー年度を締めくくると、これ以上に素晴らしい方法があるでしょうか。

ポリオ撲滅におけるロータリーの友でパートナーであるビル・ゲイツさんが、なんと今年の国際大会で講演していただけることになりました。また、会長主催平和会議が6月9～10日に開催されますので、ぜひこれに合わせてアトランタに早めにお越しください。マーティン・ルーサー・キングのご息女バーニスA. キングさんとコレッタ・スコット・キング夫人の講演があります。

私の地元とも言えるアトランタで国際大会が開かれることをとても光栄に思います。活気に満ちた現代的な州都であるアトランタは、私の出身地テネシー州チャタヌーガから車でたった二時間で、南部式おもてなしが経験できる素晴らしい街です。

WHO 世界保健機構

健康であるかの基準

- 1 何を食べても美味しい事
- 2 よく眠れる事
- 3 すぐに疲れを覚えない事
- 4 快い便通がある事
- 5 風邪気味ではない事
- 6 体重が変わらない事
- 7 毎日が楽しくて明るい事

健康

健体 (すこやかな身体)

康心 (やすらかな心)

土曜の夜の「Blue Jeans and Bluegrass」キックオフイベントを封切りに、ホスト組織委員会が充実した週末を計画してくれています。

友愛の家から道路を渡ったところにあるセンチナル・オリンピック・パーク（100周年オリンピック公園）で、グラミー賞受賞歌手のリック・スキヤッグスと彼が率いるバンド、ケンタッキー・サンダーの演奏に合わせて踊りませんか。100周年記念ブロックパーティーやアトランタ平和ツアーで旧交を温めたり、新たな出会いを得たり。ハビタットとともに家づくりのボランティアで汗を流したり、ポリオ撲滅3Kウォーク/ランに参加したりと、いろんなイベントが目白押しです。そして、アトランタを発つ前に最後にもうひとつ、友愛の家でのパーティーをお忘れなく。ロータリー財団の100歳記念パーティーです。もちろん、おいしいケーキとアイスクリームも出ます。

このまたとない機会に、みなさまとご一緒できるのを楽しみにしています。南部のお国言葉では「with ya'all（「あなたたちと」）」！。アトランタでお会いしましょう！

John F. Germ
2016-17年度会長

2017-18年度R1テーマ

2017-18年度テーマ『ロータリー：変化をもたらす』

数年前、知り合った人からある質問をされました：「ロータリーとは何ですか？」シンプルであるはずのこの質問に答えようと口を開きかけたところで、思わず止まってしまいました。どこから説明してよいか分からなかったのです。

ロータリーとは何かを、私が知らなかったわけではありません。問題は、ロータリーがあまりに大きく、複雑すぎて、簡単に説明できないことでした。

ロータリーとは、会員制の団体、クラブを基盤とした団体、奉仕を行う団体であり、町ごと、地域ごと、そして全世界で活動する団体です。その会員は、地域社会のメンバー、事業人、職業人であり、現役で仕事をする人もいれば、定年退職した人もいます。そして、世界のほぼすべての国で活動しています。120万人の会員一人ひとりが、独自の目標と優先を掲げ、一味違った経験をしています。一人ひとりが、ロータリーを独自の解釈で理解しているのです。

私にとってロータリーとは、「どのような団体か」ではなく、「何をしているか」で定義されます。すなわち、ロータリーが私たちに与えてくれる可能性、そして、その可能性を有意義かつ持続可能な奉仕によって実現する方法によって、定義されるのです。



ロータリーには、112年の豊かな歴史があります。この間にロータリーは、徐々に成長し、成熟し、会員と地域社会の変わりゆくニーズに対応しながら、ある意味で大きく変わりました。しかし、その根底にあるものは同じです。それは、地域社会と世界に変化を生みだしたいという願い、そして、ロータリーを通じてそれを実現できるようになった人が集まった組織だということです。「ロータリーとは何ですか」という問いに、私たちは行動をもって答えます。奉仕を通じて変化をもたらすことによります。

組織として、私たちは、ロータリーとは何か、何をするのかを世界に理解してもらうことが、いかに重要であるかを認識しています。同時に、各クラブがロータリー奉仕を独自に定義することが、かつてないほど重要であると自覚しています。ロータリアンである私たちは、これまでよりも柔軟に、クラブの例会、活動、発展の方法を決定でき、また、もっと多くの女性や多様な会員を迎え入れて、地域社会の特色をクラブに映し出すことに力を注いでいます。長期の計画、持続可能な奉仕、全レベルでのリーダーシップの継続性を重視することで、ロータリーが世界有数のボランティア組織であり続けるよう努力しています。

2017-18年度、「ロータリーとは何ですか」という問いに、私たちは「ロータリー：変化をもたらす」というテーマで答えます。それぞれどのような方法で奉仕することを選んだとしても、その理由は、奉仕を通じて人びとの人生に変化をもたらせると信じているからです。新しい遊び場や学校をつくる、医療や衛生設備を改善する、紛争仲裁者や助産師を研修するなど、私たちはその活動が、人数が多かろうが少なかろうが、誰かの人生をより良くしているのだと知っています。ロータリー入会のきっかけが何であれ、私たちがロータリーにとどまり続けるのは、ロータリーで充実感を得ることができるからです。この充実感、毎週、毎年、「変化をもたらす」ロータリーの一人であることから湧き出てくるものなのです。

Ian H.S. Riseley
2017-18年度会長



ロータリー：
変化をもたらす

次回〈5月19日〉の予定

テーマ 「フェリス女学院の沿革」
フェリス女学院 学院長、新潟大学 名誉教授
鈴木 佳秀 様
(紹介者 石川 正三 会員)